

氏名：瀬川晃

役職：准教授、研究委員会、学生委員会、入試実施委員会
プロジェクト：School for Regenerative Design、プラクティカル・サイクリング
担当授業：メディア表現基礎3、制作基礎、メディアデザイン演習

活動の概要

研究活動では、萌芽プロジェクト（プラクティカル・サイクリング）の活動としてグラフィックワークの実践を通じて、関連作品・文献の参照やプロセスの公開を行った。SFRDプロジェクト内でのリサーチ、運営に携わった。担当学生の指導を行った。メディアデザイン演習：情報の可視化について演習を行った。学外では地域の文化活動「草の根交流文化サロン」の活動支援、春日森の文化博物館での企画展示や制作協力を行った。

学内で携わった共同活動

プラクティカル・サイクリング（萌芽プロジェクト）

グラフィックデザインと関連する事象や実践について実例や参照例を交えて考察した。
<https://criticalcycling.com/>

- Practical Cycling 1：シンボル C
- Practical Cycling 2：シンボル P
- Practical Cycling 3：ブランド=烙印
- Practical Cycling 4：干渉する回転
- Practical Cycling 5：回転する閾値
- Practical Cycling 6：回転する視点
- Practical Cycling 7：時を刻む
- Practical Cycling 8：連続する軌跡
- Practical Cycling 9：平面充填
- Practical Cycling 10：図形楽譜

School for Regenerative Design

地球環境、電力、衣料、農業、生命など、さまざまなテーマで外部の専門家の知見や文献などを参照し、複雑な問題の認識から議論を進めた。オープンハウスの展示、ゲストレクチャー、映画上映などプロジェクトの運営に携わった。

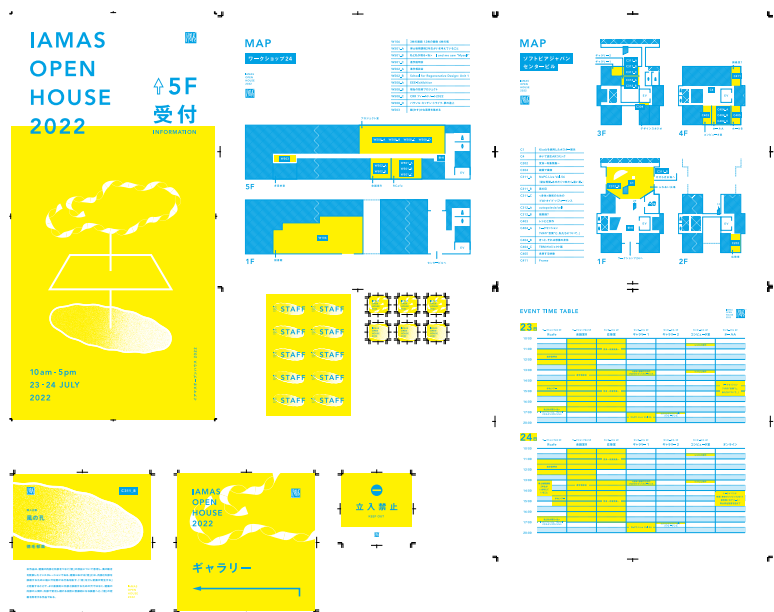
OPENHOUSE 2022

サインの監修・制作のディレクションに携わり、学生への制作指導をした。

デザイン：大山千尋（卒業生）
制作：2022年5～7月

OPEN HOUSE 2022 サイン制作一覧

名称	場所	サイズ	個数	内容	出力用紙	支持体	備考
誘導	WS24 1F	2100 x 900	1	IAMAS OPENHOUSE 2022 5F 受付	ロール紙 (幅 910mm)	バナースタンド	バナー (RCIC)
誘導	WS24 図書館前	600 x 600	1	IAMAS OPENHOUSE 2022	ロール紙 (幅 910mm)	ハレバナ	スタンド大メッキ (ギャラリー準備室)
タイムテーブル	WS24 5F	600 x 600	1	タイムテーブル	ロール紙 (幅 910mm)	ハレバナ	スタンド黒 (RCIC)
マップ	WS24 5F	600 x 600	1	マップ	ロール紙 (幅 910mm)	ハレバナ	スタンド黒 (RCIC)
受付	WS24 5F	H910 x W1380	1	IAMAS OPENHOUSE 2022	ロール紙 (幅 910mm)	ハレバナ	カウンター (R.cafe)
エレベーターボタン	WS24 エレベーター	H30 x W 35	2	IAMAS OPENHOUSE 2022	A4 タックシート		
誘導	SJ 1F	2100 x 900	1	IAMAS OPENHOUSE 2022	ロール紙 (幅 910mm)	バナースタンド	バナー (RCIC)
誘導	SJ 3F	300 x 300	3	ギャラリー・デザインスタジオ・応接室	ロール紙 (幅 610mm のり)	アルミ複合板	組立式スタンド (デザインスタジオ)
マップ	SJ 4F	A3	1	マップ	A3 コピー紙	木製スタンド	マグネット
マップ	SJ 1F	600 x 600	1	マップ	ロール紙 (幅 910mm)	ハレバナ	スタンド小メッキ (ギャラリー準備室)
キャプション	SJ 1F WS24	300 x 300	27	各企画タイトル 出展者名 概要	ロール紙 (幅 610mm のり)	アルミ複合板	各企画 (オンライン企画を除く) スタンド (ギャラリー準備室)
立入禁止	ロフト開口部	150 x 150	4	立入禁止	ロール紙 (幅 610mm のり)	アルミ複合板	スタンド組立式 (デザインスタジオ)
スタッフステッカー	受付	86.4 x 50.8	150	STAFF	A4 タックシート		テンプレート
バナー	SJ 1F WS24	1800 x 600	4	IAMAS OPENHOUSE 2022	ターポリン	バナースタンド	業者発注



IAMAS2023 修了研究発表会 実行委員

学生を中心に構成される実行委員会 (運営、デザイン、イベント、広報、映像、設営) のサポートを行った。

学外での個人活動

制作協力：リバイバル 25 周年展 藤原市三郎《森に還る》

主催 春日森の文化博物館

<https://www.iamas.ac.jp/rcic/activities/202112-202205/>

旧春日村 (岐阜) 出身の芸術家：藤原市三郎の軌跡を辿る企画展示の制作協力を担当。ビジュアルは、ポスターを兼用する A4 サイズのフライヤーを 2 種類制作。連結の仕方によって、2/3/4/6/9 枚と縦横のスペースに合わせて自由に変形ポスターになる。

ビジュアル、撮影・編集、スキャン、マップ、作品リスト、年表、スケッチブック複製

制作：2021 年 12 ~ 2022 年 4 月

会期：2022 年 5 月 1 ~ 22 日

会場：岐阜県揖斐郡揖斐川町春日美東 1902 番地 183



品名	材質	形状	寸法	重量	備考
1	石	丸い	直径約5cm	約100g	
2	石	角形	約3cm x 3cm	約50g	
3	石	柱状	高さ約10cm	約200g	
4	石	扁平	約5cm x 2cm	約30g	
5	石	丸い	直径約4cm	約80g	
6	石	角形	約4cm x 4cm	約60g	
7	石	柱状	高さ約8cm	約150g	
8	石	扁平	約4cm x 1.5cm	約20g	
9	石	丸い	直径約3cm	約40g	
10	石	角形	約3cm x 3cm	約40g	
11	石	柱状	高さ約6cm	約100g	
12	石	扁平	約4cm x 2cm	約30g	

制作協力：「柴田慶子展〈言葉が見せる風景〉 一聞き写し春日 II -」
 主催 春日森の文化博物館

20年以上にわたって旧春日の村人の声を拾い、イメージの定着を試みている柴田慶子による企画展示のフライヤー制作・展示設営協力を担当。ビジュアルは、抜粋した村人の語りから一字一字を可読ギリギリの間で繋ぎ止めた。

制作：2022年7～10月
 会期：2022年10月22日（土）～11月12日（土）
 会場：岐阜県揖斐郡揖斐川町春日美東 1902 番地 183



全国高等学校総合文化祭ポスター原画の審査会
 岐阜県庁環境生活部県民文化局文化伝承課

審査：2022年5月

池田町有線放送アーカイブ活用推進委員会

52年間の歴史に幕を下ろした池田町有線放送（岐阜県揖斐郡）の番組音声データの情報科学芸術大学院大学による整理が進んだことを受け、その成果を還元する機会を検討した。

活動：2022年7～2023年3月

制作協力：時の間を映す鏡「いきるかたち」

主催 草の根交流文化サロン in SEINO 実行委員会

フライヤーの制作協力として、動画撮影から画像を切り出し、舞の動きをコラージュした。変形した折加工により布の軽やかな可変性を追求した。

制作：2022年9～10月

会期：2022年11月3日～6日（日）

